

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成21年9月号

編 集 大井 利夫
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

「第35回日本診療情報管理学会学術大会」に向けて

堺 常 雄

社団法人 日本病院会 副会長
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 院長
第35回日本診療情報管理学会 学術大会長

いよいよ今月の17日、18日に浜松において第35回日本診療情報管理学会学術大会開催の運びとなりました。今回は節目の35回ですが、学会名が日本診療情報管理学会に変更になり新学会名の学術大会としては最初の学術大会となります。その意味で今回のテーマを「診療情報管理、来し方行く先」としましたが、会員の皆様のご協力により有意義な学術大会になることを願っております。現在のところ事前登録者数は1,100名程ですが、まだ余裕がありますのでお問い合わせの上ご参加下さいませ様ご案内申し上げます。

「情報を制するものはすべてを制す」といわれますがまさにその通りだと思います。混沌とした医療界ですが玉石混交の情報の中から適切なものを迅速に収集し正しく分析して、あるべき方向性を決定し続けるのが望まれています。現在、学会名では「診療情報」となっていますが、近い将来「健康情報」まで視野を広げなければならないと思います。まさに Health Information 全般を扱うことになっていくのではないのでしょうか。

その意味では今回の学術大会が新たな前進への第一歩になればと考えています。基調講演では大井利夫理事長より「診療情報管理士の来し方行く先」についてお話いただき、教育講演では聖路加国際病院の福井次矢先生に「医療の質を高める」についてお話いただきます。本学術大会に先行して開催される第4回 WHO-FIC アジア・パシフィックネットワーク会議に出席されている WHO のウースタン先生には特別講演で「どれだけの数の人が知識を生み出すのか：ICDを構築する新しい方法」についてグローバルな視点からお話を伺うことになっています。その他にもシンポジウム、公開講座など多くのプログラムを用意していますので、夫々の分野で活発な意見交換をしていただき、多くの成果を挙げることができると願っております。

浜松は風光明媚でおいしい食べ物やお酒もたくさんあります。また学術大会の翌日からは「モザイクカルチャー世界博」が開催されますので、学術大会と合わせて浜松を楽しんでいただければと思います。

多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。